

認定 NPO 法人 行徳野鳥観察舎友の会 会報 第 224 号

すずがも通信

2017

6月

2017 年 6 月 11 日 発行

ISSN 2185 632X



「ウチスズメ」撮影・提供：福田 雄介氏

☆表紙の写真を募集しています。あなたの自信作をぜひ♪

※全て載せられるわけではありません。また、スタッフの独断で選ばせて頂きますのでご了承ください。

保護区作業

～刈ってました！～

野鳥病院日誌

～鳥達の行動 水浴び編～

ミステリーツアー？ミニイベント

保護区の鳥の様子

町田池の環境づくり

／フィールドミュージアム

ウナギは定番？

／江戸前干潟研究学校

☆3・4月の保護区作業～刈ってました！～☆

～田の字池のガマ刈り～



2017.04.14 草刈作業前



2017.04.14 作業後

田の字池は水深が浅くアシ原になっている北側と水深がありガマ原になっている南側に2分されています。南側には観察壁があり池の様子を見ることができますが、放っておくとどんどんガマに覆われ見えなくなってしまいます。カモなど開けた水面の方が好みの鳥もいますし、観察のしやすさもあるので観察壁の正面は年に1～2度ガマを刈り開けた水面を確保しています。水深のある池では草刈り機などの機械類は使えないので胴長を履き、大鎌を使い人力で水中の底近くからガマを刈っていきます。油断すると草の切れ端や鎌でいつの間にか胴長に穴が開いていて浸水・・・という事もあるので注意が必要です。

刈ったガマは積んで山にしておけばそこもカモなどの休み場となります。田の字池は毎年カイツブリが営巣しており、今年も5月に入り営巣が確認されました。順調に行けば5月末～6月頃にヒナと一緒にいるところが見られるかもしれません。

(山口 誠)



2017.05.09

確認されたカイツブリの巣(○内)

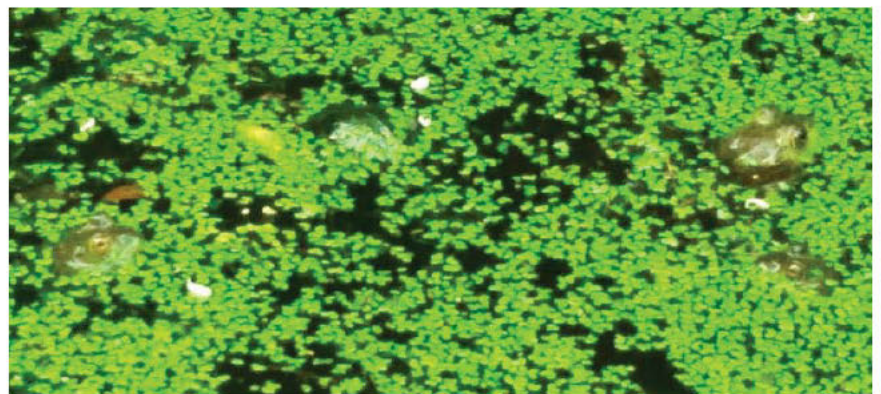


拡大

←カイツブリのおしり。
右斜め後ろを向いています。

カエルの合唱=====

3月ごろからアマガエル、アカガエル、トウキョウダルマガエルが鳴き始めました。同じころにアカガエルの卵も見られ始め、すずがも通信6月号が出るころには上陸した小さな小さなカエルたちが見られるでしょう。



↑町田池そばの容器内

この中にトウキョウダルマガエルが3匹います。分かるかな？

3～4月 保護区の鳥の様子 ～子育ての季節～

川上 正敬

2017年3月から4月の保護区鳥類調査の結果です。この二ヶ月で66種を記録しました。

まだ保護区に残っている冬鳥に加えて春に保護区を通過するシギ科などの旅鳥、そして保護区および周辺で繁殖する夏鳥(アマサギ、チュウサギ、コチドリ、ツバメ、オオヨシキリ、セッカ)が渡ってきたため種数は随分多くなりました。

アオサギの繁殖は例年より一ヶ月ほど遅く3月半ばから北池、カワウコロニー内で始まりました。

4月に入るとダイサギもカワウコロニー内で営巣を始めた様子です。

水鳥類

オカヨシガモ
マガモ
カルガモ
ハシビロガモ
オナガガモ
コガモ
ホシハジロ
キンクロハジロ
スズガモ
ウミアイサ
カイツブリ
カンムリカイツブリ
ハジロカイツブリ
カワウ
ゴイサギ
アマサギ
アオサギ
ダイサギ
チュウサギ
コサギ
クイナ
バン
オオバン
コチドリ
セイタカシギ
タシギ
イソシギ
ユリカモメ
セグロカモメ

その他小鳥など

キジバト
カワセミ
コゲラ
モズ
オナガ
ハシボソガラス
ハシブトガラス
シジュウカラ
ツバメ
ヒヨドリ
ウグイス
メジロ
オオヨシキリ
セッカ
ムクドリ
シロハラ
アカハラ
ツグミ
ジョウビタキ
スズメ
ハクセキレイ
セグロセキレイ
カワラヒワ
ベニマシコ
シメ
ホオジロ
アオジ
オオジュリン
ドバト

猛禽類

ミサゴ オオタカ
トビ ハイタカ
チュウヒ ノスリ
ツミ チョウゲンボウ

ニュース

『ひっそりミゾゴイ』



保護区作業中、ミゾゴイが茂みから飛び立ちました。保護区初記録です！

残念ながら写真がないので、野鳥病院のミゾゴイ画像で代用。※スマホ撮影

『モズ繁殖？』



管理棟前の並木でモズがどうやら繁殖をしている様子。4月ごろからしきりに鳴いていました。ヒナなどは確認できていませんが、ペアでうろうろしているところを見ると可能性は濃厚です。

水浴びが大好きな鳥達。野鳥病院の鳥達も水浴びが大好きです。しかし中には毎日水浴びをしない鳥もいます。

大部屋では、プール掃除後に水が入り出すと一目散に水鳥達が駆け寄ってきます。しかしそこは力の強く大きな鳥の順。ここではカモメ→カワウ→カモでしょうか。水鳥達の水浴びの様子はとてもダイナミックで気持ちよさ満載です。

その様子に感化されたのか、気まぐれなのか、たま——にハトがプールに入ってきます。周りの鳥達の様子を伺いながら、少しずつ出たり入ったりを繰り返します。そして1羽が入り出すと、他のハトも「この時だ！」とばかりに次々にやってきます。この時プールは珍しくハト・ワールドです。

現在大部屋にはハトは4羽ですが、この4羽は個々に水浴びの仕方が違ってしています。

①浅瀬で全身ブルブル。オーソドックス。

②浅瀬で動かず。つかっているだけ。足湯？

③両羽を広げ、浮く。一瞬死んじゃった？とビックリ。その後羽ばたいて飛び立ちます。

④オーソドックスの激しさ倍増。身体そんなに痒い？

水鳥達は皆同じような水浴びですが、ハトは怪我の状態も関係するのかたまの水浴びだけに個性があるのかもなんて思っています。おもしろいですね。

野鳥病院に来られた時、ハトの水浴びシーンで個性を見ることが出来るかも？！ぜひ足を運んでみてください。

《最新のお知らせ》

5月11日付で鳥インフルエンザの警戒レベルが1(通常)に引き下げられたことを受けて、水鳥や猛禽類など今まで制限していた種の受け入れを再開致しました。

ヒナを拾ってしまったら・・・

地面にいるヒナの大半は巣立ちをして飛ぶ練習をしている最中。親鳥が必ずいるのでそっとしておくのがベスト。でも、ケガや衰弱をされていてどうしても拾ってしまったら。



① 収容

段ボールが最適。水を染み込ませたティッシュを容器に入れて箱の中へ。

② 保温

お湯入りペットボトルやホカイロをタオルにくるんで箱の中へ。

③ 補液

スポーツドリンクを薄めてクチバシの合わせ目から数滴浸み込ませる。

④ 各都道府県に連絡

【注意！】水の容器を入れない。カモのヒナも最初は同じ。

イベント報告

江戸前干潟研究学校

保護区の池や海岸に網を一昼夜設置して採集した水生生物を調べる調査イベントです

月 1 回開催。2015 年度から始まり、2 年間で 100 種(魚類 55 種・甲殻類 32 種など)以上を採集・観察しています。個体数が多いのはボラ・スズキ・マハゼ・ニクハゼ・モツゴ・カダヤシやシラタエビ・スジエビ・ユビナガスジエビ・テナガエビ・アメリカザリガニ・チチュウカイミドリガニ。種類ではハゼ類が 15 種でした。淡水域では導入種・外来種が多く、海水・汽水域では沿岸・干潟域の種類がほとんど。ウナギも 4 割の回で出ました。春～初夏はまだ小さい個体が多く、6～8 月はギマやカタクチイワシが良く出ます。

今年度第 1 回目はあいにくの雨でしたが参加 25 名と盛況でした。マサゴハゼが研究学校として初記録。今年度はどんな生き物と出会えるでしょうか。(野長瀬 雅樹)



4/9 百合ヶ浜で採集されたイシガレイ



研究会の調査活動やイベント情報をお知らせするメーリングリスト(月 1 回程度配信)もあります。登録希望の方は友の会までアドレスをご連絡ください。

【研究会事務局担当

野長瀬雅樹】

今後予定

6/16(金)、7/16(日)、8/13(日)、9/17(日)

集合：行徳野鳥観察舎前 時間：10 時～15 時

雨天決行／当日受付／参加費無料／要昼食

詳細は友の会メールか下記連絡先にてご確認ください。

【行徳野鳥観察舎 047-397-9046】

フィールドミュージアム

保護区内の生き物を実際に観察しながらプロの先生と一緒に学んでいきます

4/23 (日)、5/27 (土)「町田池」

2011 年の震災時に液状化で水路が埋まったり水車池の倒壊により一時的に水の途絶えてしまった町田池水系。現在は復旧していますが、ウシガエルやアメリカザリガニ、カダヤシと保護区の他の淡水池より外来種がほとんどを占める状態となっています。そこで町田池をテナガエビやアカテガニ・ニホンウナギが生息できるような環境にしようと今年度から少しずつ整備を進めていくことにしました。まずは現状の生き物調査と海(北の釜)側の水路出口の改修作業を実施。塩ビ管を切り詰めて、滝状ではなく土嚢や石伝いに水が流れ出すようにして海から生き物が上がってきやすい構造へ。今後はモニタリングしながら少しずつ手を入れる予定です。(野長瀬 雅樹)



4/23 町田池水系採集風景

今後予定

6/18 カニ 7/22 干潟生物 8/20 未定

集合：行徳野鳥観察舎前 時間：10 時～15 時

雨天決行／当日受付／参加費 50 円／要昼食

詳細は友の会メールか下記連絡先にてご確認ください。

【行徳野鳥観察舎 047-397-9046】

ミステリーツアー？

土曜日ミニガイド

4月からお試して始めた土曜日午後から 30 分のミニガイド。普段の観察会は 2 時間と長いので、気軽に参加できるようにと始めた企画なのです。

内容も、野鳥病院の案内や、観察舎周辺の桜や草花の観察、普段は入らない導流堤の上を探検したりと様々で、何が起こるかわからないお楽しみガイドツアー！

こんなことが聞きたい！見たい！というご要望も叶えられちゃうかも！？リクエスト、お待ちしております(^-^)

(イワサキ)

周辺のミニ桜観察会



昔の海岸線、導流堤の上を探検！



野鳥病院、ゴイサギの紹介



時間：13 時半～14 時

開催日：イベントのない土曜日

集合場所：行徳野鳥観察舎前

参加費無料

お気軽にご参加ください♪

《お詫びと訂正》

前号、前々号のすずがも通信のイベント情報で間違いがありました。下記の通り訂正してお詫び致します。

・＜平日観察会＞ 5 月 12 日⇒5 月 13 日

・＜ミニガイド＞ 第 1, 2, 3 土曜日⇒毎週土曜日(第 4 土曜と祝日除く) ※イベントがある日はお休み

時間 10 時／解散 12 時⇒13 時半～14 時

♪♪♪ イベント案内 ♪♪♪

●→雨天中止 ★→荒天中止 ☆→小雨決行

●ボランティアデー(毎月第4土曜)

スタッフと一緒に保護区の管理作業をしてみませんか？

6/24、7/22 13時～15時半

集合：行徳野鳥観察舎前

作業内容は未定。開催日の3日前～前日に下記連絡先(観察舎)にてご確認ください。お楽しみに！

<前回>



3/25 湊(みなと)池堆肥撒き
(田んぼ肥料)
(参加9名)

←4/22 観察壁稲束交換(目隠し
用)&湊池棚田ゴミ拾い
(参加9名)

6～7月 スタンプラリー

裏



湾岸の施設 6カ所で
開催。3カ所集めると
谷津干潟オリジナル
クリアファイルがも
らえます！

期間：6/1～7/17

場所：谷津干潟、葛西臨海水族園、葛西臨海
公園・鳥類園、東京港野鳥公園、大森
海苔のふるさと館、行徳野鳥観察舎

●8/未定 セミ羽化観察会

命の神秘をぜひその目で♪

時間：18時半～ 約2時間

集合：行徳野鳥観察舎前

定例観察会

●定例園内観察会(毎週日曜・祝日)

集合：行徳野鳥観察舎前 13時半～15時半

★定例新浜探鳥会(毎月第2日曜日) 7月9日、8月13日

集合：行徳駅前の広場(改札出て左) 10時～ 持ち物：昼食、飲み物、帽子

参加費：200円(18歳未満は無料) 「放水路経由コース」は+バス代400円(子供200円)

・「新浜保護区コース」保護区内→観察舎前／解散 13時半

・「放水路経由コース」バスで江戸川放水路まで→保護区内→観察舎前／解散 15時半

◎主催：行徳野鳥観察舎友の会、日本野鳥の会東京支部、千葉県野鳥の会

☆夕暮れ観察会(毎月第4土曜日) 6月24日、7月22日、8月26日

集合：行徳野鳥観察舎前 16時半～18時半

●平日観察会(第1木曜日 ※祝日の場合は翌週) 7月6日、8月3日

集合：行徳野鳥観察舎前 10時～12時

●ミニガイド(毎週土曜日(第4土曜と祝日除く)) ※イベントがある日はお休み

集合：行徳野鳥観察舎 13時半～14時

【行事に関する問い合わせ：行徳野鳥観察舎(047-397-9046)】

すずがも通信 No.224(隔月発行) 2017年6月11日発行 *****

発行所

認定特定非営利活動法人行徳野鳥観察舎友の会

[千葉県行徳野鳥観察舎 〒272-0137 市川市福栄4-22-11 Tel.047-397-9046]

E-mail tomonokai_suzugamo@ybb.ne.jp

URL <http://gyotokubird.wixsite.com/npofgbo>



Twitter



Instagram

年会費

- ・普通 2000円 ・電子 1000円
- ・ジュニア(18歳以下)500円
- ・賛助 3000円以上
- ・法人・団体 10000円以上

編集 鈴木陽子

印刷 プリントネット株式会社